放射線科

診療技術部門新人教育プログラム

A．初年度カリキュラム

4 月 1 日採用時に約一週間の新入職員研修があります。全職種共通ですが診療技術部門はそのうち 2 日間参加していただきます。

1．　新入職員研修２日間の主な内容（診療技術部門）

新入職員研修（診療技術部門）共通
医療安全、感染対策の初期講習（全職種共通） 医療安全管理室、感染対策室の専従スタッフからインシデント、アクシデント発生時の対応や感染性廃棄物の取り扱い、針刺し事故時の対応などの講義を受けます。
患者の急変対応（診療部各科室共通） 患者急変時の応急処置、応援スタッフの要請などの実習を受けます。
電子カルテの操作説明（診療部各科室共通） 電子カルテの基本操作と各科室独自のシステムの操作をシステムエンジニアから説明してもらいます。

2．　各科室の基本業務の習得

初年度の約半年間から 1 年間かけて一人で当直業務ができるように実際業務の修練に努めてもらいます。

放射線科教育プログラム（初年度）	
期間	内容
４月～６月	一般撮影装置取扱
４月	電子カルテ、RIS の理解
４月	画像取込、出力操作
５月～６月	ポータブル撮影、オペ室イメージ操作
５月後半～７月前半	内視鏡室透視装置取扱
６月～７月	CT 室横透視装置取扱
７月～９月	X 線 CT 装置取扱
１０月～１２月	アンギオ装置取扱
１１月～１２月	頭部 MRI 撮影

年内に単独での当直が出来る様のカリキュラムとしています。
各モダリティでの通常ルーチンワークは別途行っていきます。

平成 29 年 4 月 1 日現在

３．　臨床研究、業績作りの教育
研究テーマの立案、患者データの分析、個人情報保護などについて院内・院外講師の指導を受けます。

４．　各科室において臨床研究や各種研究会での発表に向けていろいろな研鑽を積んでもらいます。尚、初年度期末の成果発表会で新入職者の１年間の業務報告を発表してもらいます。（各科室共通）

Ｂ．２年度以降の研修のカリキュラム（各科室）

初年度研修終了後各科室で複数の業務をローテーションしたり、特定の専門業務の習得に努めてもらいます。（各科室のページを参照）

放射線科教育プログラム（２年次以降）	
期間	内容
４月以降	第一段階 放射線科スタッフとして自立して業務ができる 放射線科が扱う電子カルテソフトの操作方法の習得 Ｘ線撮影、検査を行う為の機器操作、技術の習得 医療チームの一員として他職種者と連携する 第二段階 必要とされる画像を理解し、自ら考え的確な画像情報を提供できる 医療チームの一員として他職種者に対しても時にはリーダーシップがとれる 第三段階 職場の問題解決に積極的な行動がとれる 状況判断能力の向上 リーダーシップの発揮 専門、専門外などでも必要に応じ院内外で発表をおこなう その他 国家公務員共済組合連合会系列病院あるいは同本部にての研修

C．各専門領域での認定資格の取得やリーダー研修などのプログラム（診療部共通）

施設認定や診療報酬加算に必要な資格などは病院全体で必要な人数などを検討し、個人の希望も考慮し取得に向けた計画を立てます。また各職種の学会などで主催する研修会や国家公務員共済組合連合会が行う研修会にも参加する機会があります。

認定資格名称	認定機関	
X 線 CT 認定技師	日本 X 線 CT 専門技師認定機構	
血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師	日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構	
肺がん CT 検診認定技師	肺がん CT 検診認定機構	
救急撮影認定技師	日本救急撮影技師認定機構	
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	日本乳がん検診精度管理中央機構	5 名
核医学専門技師	日本核医学専門技師認定機構	
胃がん検診専門技師	日本消化器がん検診学会	
医療情報技師	日本医療情報学会	
磁気共鳴（MR）専門技術者	日本磁気共鳴専門技術者認定機構	
血管診療技師	血管診療技師認定機構	
医学物理士	医学物理士認定機構	
放射線機器管理士	日本診療放射線技師会	1 名
放射線管理士	日本診療放射線技師会	1 名
臨床実習指導教員	日本診療放射線技師会	
医用画像情報精度管理士	日本診療放射線技師会	
Ｘ線ＣＴ検査技能検定	日本診療放射線技師会	1 名
ＭＲＩ検査技能検定	日本診療放射線技師会	1 名
一般撮影技能検定	日本診療放射線技師会	1 名
シニア診療放射線技師	日本診療放射線技師会	1 名
Ai 認定診療放射線技師	日本診療放射線技師会	
第 1 種放射線取扱主任者	原子力安全技術センター	1 名

D．学会活動の支援

・学術集会への参加
・研究会等での発表や論文作成指導
・臨床研究の基礎的な指導

E．他施設への研修出向

連合会病院を中心に 1 年から数年の短期研修に参加していただきます。

平成 29 年 4 月 1 日現在